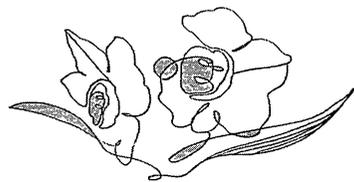
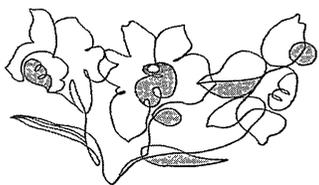


新学期

宮坂静生



新学期ハンガーラック満杯に
鉛筆に記名春休みが了る
立春のボンゴ叩けばゴジラ現る
身体は一本の紐冴返る
水底に紅梅休戦はなるか
つかのまに暁紅移る春の餓^が鬼岳^き



恍惚と冬木のからみ合ひてをり
深海の泥のしづけさ雪雲は
枯山に経文流し牧の寺
鐘の音の離るる微粒子の寒さ
闇に透くるひとの円居や春隣
綿虫や藍より青き水の上
大寒の海の入日の火の玉は